



ほけんだより

たいさく つづ コロナ対策を続けましょう。



ことし ねんめ 今年で3年目のコロナ禍の生活。いろいろな制限がゆるめられてきていますが、
コロナが終息したわけではありません。

いなほしょう せんじつ 稲穂小でも先日、1クラスが学級閉鎖になりました。

コロナ禍の生活が続いて、手洗い、マスク、換気などすっかり習慣化した人もい
れば、逆にだんだんと適当になってしまったり、忘れてしまったりしている人も
いると思います。

コロナ前の生活に戻るにはまだ少し時間がかかります。きゅうくつな思いは続い
てしまいますが、みなさんが元気に過ごすために、感染症対策は続けていきま
しょう。



とうこうまえ けんおん けんこうかんさつ つづ 登校前の検温、健康観察も続けてください。体
ちょう わる とき むり 調が悪い時は無理をせずにお休みしましょう。



か マスクの替え も き 持って来ていますか？

コロナ禍ですっかり定着したマスク生活。最近ではマスクをつけ忘れてくる子
はめったにいません。

でも、保健室には毎日数人がマスクをもらいに来ます。「給食で汚れてしま
ったから」、「水でぬれてしまったから」、「ひもが切れてしまったから」などなど理由
は様々です。

保健室のマスクは基本的に、鼻血や吐いて汚れてしまった場合など緊急の場合
のために用意してあります。

誰でもうっかり汚してしまったり、ぬらしてしまったりしてマスクを交換したい
と思うことはあると思います。そんな時は自分で用意した新しいマスクに交換で
きると良いですね。かばんの中に1枚、予備のマスクを入れておきましょう！

つか あと ほしゅう わす 使った後は補充も忘れずに！





服で温度調節をしよう

日中はまだまだ暑い日も多いですが、朝晩はすずしい風がふくようになってきました。
 保健室では最近、おなかの痛いという子が増えています。
 体を冷やさないように登下校には1枚羽織るものがあると良いですね。



9月9日は救急の日



転んでひじ・ひざなどをすりむいた時、砂や泥がついたまま保健室に来ていませんか？ばい菌が入らないように傷口をきれいにすることは応急手当の第一歩です。自分で傷口を洗ってから保健室に來られると良いですね！

また、ケガをした時に正しい手当ができることも重要ですが、コロナ対応で病院の体制が十分でない今、ケガを防ぐということもとても大切です。ちょっとした不注意から思わぬ大きなケガにつながることもあります。学校で、外で、おうちで、ケガにつながる危ないことをしていませんか？ふり返って考えてみましょう！

そのケガ、もしかしたら防げたかも

保健室で手当をするケガには、ちょっとした注意で防げたものもあります。



うっかりした

【例】よそ見しながら教室の戸を閉めたら、友だちの手がはさまった

ゆだんした

【例】このくらいなら大丈夫と階段から飛び降りてねんざした

あわてていた

【例】遅刻しそうなので自転車のスピードを出していたらカーブで転んだ

ふざけていた

【例】そうじ中ボールに乗って遊んでいたら転んで頭を打った

ルールを守らなかった

【例】走って廊下の角を曲がったとたん、友だちとぶつかった

「注意一秒、ケガ一生」なんて言葉もあります。1秒の注意で安全に。

